

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会
第41号 2013年5月

「ほたるの里15周年に思う」

ほたるの里づくり実行委員会会長 加藤 賢三

今年、八千代市ほたるの里づくり実行委員会は、15周年の記念すべき総会を迎えました。実は、ほたるの里はその基礎工事などからみると、およそ20年にもなります。なによりも、ここは未来につなぐ八千代の潤いの水辺ネットワーク、子どもたちに託す未来への遺産として、印旛放水路・桑納川水辺空間整備計画の中で整備されたところです。

基本的な里づくりの考え方はホタルの身になって、ホタルが棲んでみたくなるようなところにするということです。ホタルは良い環境のバロメーターなので、そのような環境がととのえば、メダカもカエルも、その他多くの生き物が共生できる場となるわけです。そのために、市民、企業、行政が協力して、いわゆるグラウンドワーク方式で、里づくりが行われてきました。

これからの里は、いつまでも多くの生き物の棲める場、環境学習などの場、いこいの場などに利用され、親しまれていくことが期待されています。さて、一昨年は、「三つのチャレンジ」として

て、①里の水路の一部にミニホテルハウスづくり、②湿地をミニ田んぼにしたミニミニ米作り、③里の生き物調査と水質調査などの計画と実行を行いました。どのチャレンジも、長期的な試みでもあり、今年の目標は、持続可能なほたるの里づくりに向けての着実な継続を「三つのチャレンジ」への挑戦を通して行っていく

きます。

幸い今年は、TOTO水環境基金を頂き、4月20日には、生き物調査を会社の方々の参加をいただきながら、そして、5月11日には、田植え、生き物調査などがはじまっています。このような機会は、まさに、市民、企業、行政が協働して行ってきた経験が里づくりに生かされることになりそうです。そして、その一つの成果が、里の生き物マップとして、実るようにしていきます。さらに、これは、三つのチャレンジへの強力な支援になるものと思われます。

今後とも、里の活動をまちづくりの一環として、「ホタルもヒトもかがやく街」にしたいですね。



ノダフジ (絵: 森)

ほたるの里の生き物調査をスタートしました。ご参加下さい。詳しくは3ページへ→

25年度ホタルメイト団体 人もホタルも輝く街へ！！

私たちはほたるの里を応援しています！

石井食品株式会社 NPO 法人高齢者福祉ネット NPO 法人子どもネット八千代
NPO 法人八千代オイコス ガールスカウト千葉県第57団 株式会社斉藤鑿泉管工
株式会社千葉分析センター Kid's ☆ garden 共栄物流株式会社 クボタ環境サービス株式会社
CAC スイミングスクール勝田台 Take まつげ専門店 トーネツ株式会社 日産自動車八千代営業所各支店
八千代ホタルフォーラム 有限会社 A 有限会社ふれあい総合企画 米本団地自治会

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第16回総会を開催しました

4月6日(土)に第16回ほたるの里の総会が行われました。加藤会長からは今年で15周年であり、今までの活動を振り返り、今後ホタルが自生できる環境を目指す事をはじめ、生き物の多様性の保全を目的としていきたいと話がありました。

事業計画では今年度、TOTO株式会社から水環境基金の助成を頂くことができ、ほたるの里の生き物調査をしてマップを作成することの提案等がありました。事業計画(案)・予算(案)の議案は異議なく承認されました。

総会後には、希望者20人で宮内から七百余所神社周辺の自然観察会を行い、ほたるの里の役員の森さんに案内してもらいました。ケンポナシやウバウリ

を初めて観察し、谷津治いを歩き、春を感じる観察会でした。

(文責 広報部会)



第16回総会

参加者：42人 場所：八千代市郷土博物館

議案：①平成24年度事業報告

②平成24年度会計報告及び監査報告

③役員の選出 ④平成25年度事業計画(案)

⑤平成25年度予算(案)

ホタルの自生をめざして

日に日に暖かさが増す3月中旬、ほたるの里に出かけて見ると、真っ先に目に飛び込んで来たのは、青空のもと鮮やかな紅色の花が満開になったウメです。池の周辺では、白い小さな花を細い枝いっぱいにつけたユキヤナギが見事です。ヤナギには枝いっぱい新葉が広がり、湿地の水溜まりでは、ふ化したばかりのアカガエルのオタマジャクシや、メダカ、タニシの姿が見られます。池では、ウシガエルの大きなオタマジャクシやアメリカザリガニの動きが見られます。春の訪れとともに、ほたるの里の生き物たちの命の息吹きが感じられます。

ほたるの里では、生物多様性を高める環境づくりを目指して活動を進めており、中でも里の象徴種であるホタルの再生が大きな課題となっています。現在、ほたるの里では、ホタルの自生に向けた取り組みが行われています。その取り組みの短期的な行動目標の一つとして、ホタルが自然界で生き延び、世代をつなげていけるだけの幼虫の数の確保があります。このため、現在、「ほたるの里づくり実行委員会」の数人の役員で行っているホタルの幼虫の飼育(ホタルの里親制度)への参加を、さらにホタルメイトから募り、ホタルの自生が確認されるまでの間、継続的に行っていくことが必要ではないかと思えます。短期的な行動目標の二つ目としては、実験水路(ホタルハウス)や湿地でのホタルの生息環境の整備があります。その内容とし

ては、一定の水深(0~10cm)の水溜まりの確保、餌となる巻貝の育成、天敵からの隠れ場所や休憩場所となる植生の確保、幼虫が上陸して蛹化できる地形の確保、天敵であるアメリカザリガニの駆除等があります。こうした環境づくりに向け、現在、湿地での田植えや、実験水路(ホタルハウス)内での植生の工夫、ザリガニ釣り大会などの活動を行っています。そして、出来るだけ早い時期に、ホタルの自生を確認し、ほたるの里の自然の中で、卵から成虫に至る一連の生活史のサイクルが継続して送れる育成環境を保全していけたらと思えます。

このような中、特に、現在ほたるの里で行っているホタルの生息環境の整備については、今後、さらに湿地や実験水路(ホタルハウス)において「餌の巻貝の種類」や「幼虫の隠れ場所や成虫の休憩場所となる植生構造」、「幼虫の上陸場所の地形構造」、「ザリガニ駆除対策」、「遮光対策」等について、いろいろな試行を進め、ほたるの里の地域性に即したより有効な生息環境の整備を進める必要があると思われ

ます。今後もほたるの里の環境整備作業を通じ、ホタルの自生とともに、より生物多様性を高めることを目指して進めて行けたらと思っております。ご協力のほどよろしくお願いたします。

(文責 管理部会 関)

～きっずコーナー～

ほたるの里に春がきた。
池の虫たち うごきだす。

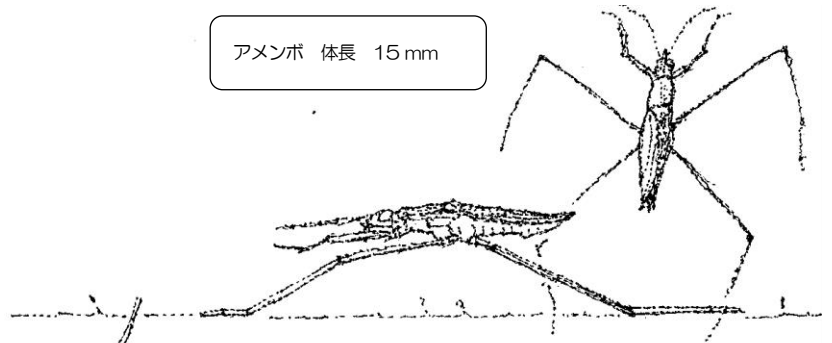
くるくる くるくる ミズスマシ。
きいろの足でこいでいる。

アメンボ すいすい 水の上。
さわると あめの においする。

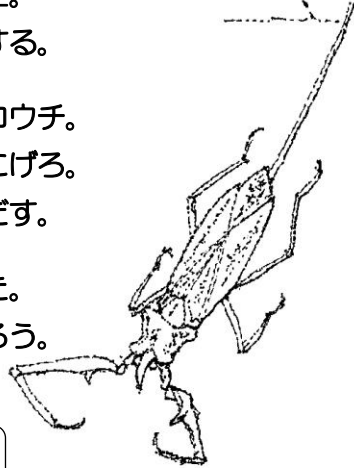
ちょっと こわいな タイコウチ。
オタマジャクシも ほら にげろ。
さわると くさいにおい だす。

ヤゴのなかまも 目がさめた。
トンボになるのは いつだろう。

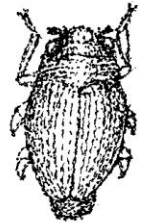
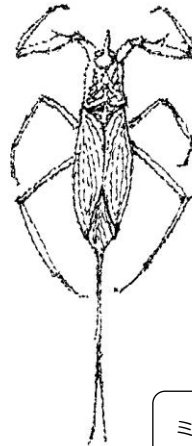
アメンボ 体長 15 mm



タイコウチ 体長 35 mm



ミズスマシ 体長 7 mm



(絵・文 もり)

ビオトープ15年目のほたるの里の生き物マップづくり

ほたるの里が作られ15年経ちました。今どんな生き物が住んでいるのでしょうか？調べて現状を知り、今後多くの生物が住み、さらにホタルが飛べる環境作りを目指しています。

そこで、第8回「TOTO水環境基金」へビオトープ15年目のほたるの里生き物マップづくり事業に応募し、採択されました。平成25年度TOTO水環境基金は、全国や海外での活動20団体が助成されています。

実施内容は、現在のほたるの里の生物調査を、専門家、TOTOの社員、地域の親子、会員等で、四季ごとに実施し、里の生き物マップを作ります。マップを活用し、里の生物多様性が豊かになるための試行や整備作業を進めます。4月20日に、1回目スタートしました。ホタルメイト、TOTO社員の23人が参加し、里にある木を調べてみました。なんと、300本近くが里に植わっていました

右のスケジュールで調査と整備作業を行います。
たくさんの方のご参加をお待ちしています。



今後のスケジュール

月 日	調べるもの
5月11日(土)	両生類・魚類・貝類 (両生類講師：福土氏)
6月8日(土)	樹木(草花・昆虫・鳥)
7月20日(土)	草花・昆虫・鳥 (植物講師：森氏)
9月21日(土)	草花・昆虫・鳥
10月	マップづくり、ワークショップ
11月9日(土)	草花・昆虫・鳥
1月18日(土)	草花・昆虫・鳥
2月	生き物マップづくり
3月1日(土)	鳥・草花

(文責 広報部会)



25年度のスケジュール



総 会

4 / 6 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

夜の生き物観察会

ホタルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

＊＊ほたるの里の写真を募集します＊＊

実行委員会発足 15 周年を記念して、各種イベントに利用させていただける写真を皆様から募集します。懐かししのイベントやほたるの里の風景など、多数のご応募をお待ちしております。 (※お問い合わせは事務局まで)

“やちよ里山シンポジウム 2013” が開催されました

里山は、自然と調和・共存した人々の生活により作られた生物多様性の豊かな環境で、八千代市内にも貴重な谷津・里山は残されています。今年の里山シンポジウムは 3 月 2 日に開催され、110 人の参加がありました。講師の千葉県自然保護課生物多様性センター副技監(兼任) 県立中央博物館副館長の中村俊彦氏より「里山と生態系サービス～里山と子どもたちの未来」についてご講演頂き、里山は大人だけでなく、子どもにとっても影響は大きく、環境識・人間と脳機能の行動の関係性等について学びました。

また、里山の生き物調査等をしている団体等から、各フィールドでの活動報告がありました。当会からは、北ノ谷津の市民生き物調査について企画部会の赤間さんより報告をして頂きました。内容は谷津で観察した生き物や景観等でした。

(文責 広報部会)

環境整備

4/20 (土)	9:00~12:00
5/11 (土)	9:00~12:00 (田植え)
6/ 8 (土)	9:00~12:00 (ホタルの幼虫の放流)
7/20 (土)	9:00~12:00
8/24 (土)	9:00~12:00 (ザリガニ釣り大会)
9/21 (土)	9:00~12:00 (稲刈り)
11/9 (土)	9:00~12:00
1/18 (土)	9:00~12:00
3/ 1 (土)	9:00~12:00

ホタルメイトになりませんか？

年会費 (4月～翌年3月)

個人	500円
市民団体	2,000円
事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、八千代市環境保全課の窓口、イベントまたは里の環境整備時に受け付けているほか、お近くの郵便局でも郵便振替にて納入していただくことができます。

(ゆうちょ銀行のカードをお持ちの方はAT

●●会費納入のお願い●●

25 年度も会費納入の振込票を同封しておりますので、よろしくお願いいたします。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円

窓 口：120円

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

【ほたるの里の連絡先】

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5 八千代市役所環境保全課 内

Tel：047-483-1151 Fax：047-482-0930

E-mail：kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP：<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

(※新しくなった八千代市のHPよりアクセスできます。)

【編集】 広報部会 事務局

